

代謝・内分泌内科



診療科紹介 HP

診療部長紹介

私は1996年京都大学卒業で、長年京都大学で勤務した後、2020年より聖マリアンナ医科大学の代謝・内分泌内科に着任させていただきました。日本内分泌学会では理事、日本糖尿病学会では学術評議員を務めさせていただいており、両領域の専門医・指導医としてスタッフの指導に携わっております。代謝・内分泌領域だけで30床以上の病床を稼働する大学病院は全国でも少なく、豊富な症例経験に裏打ちされた経験豊富な中堅・若手スタッフをそろえております。また、月曜・水曜の予約紹介外来は私自身が初診で診察させていただいており、ニーズに応じた丁寧で柔軟な対応を心掛けておりますので、うまく当院を活用していただけたらと思います。



診療部長

曾根 正勝 (主任教授)

診療科の特色

当科では、最先端の検査や治療を臨床の場に活かしつつ、患者さんのニーズに応じた最適な医療を提供してまいります。

糖尿病については、インスリン自動投与制御システム (AID) などを用いた最新の治療も行っていますが、一般的な2型糖尿病についても、かかりつけ医の先生と連携して、血糖プロファイル・インスリン分泌能・大小血管障害や悪性腫瘍含む合併症の有無等を総合的に評価し患者毎に適切な治療を調整させていただき、お戻りする治療再構築入院なども積極的に行っています。

肥満症については、ウゴービやゼップバウンドを用いた薬物療法はもちろん、15日間の肥満減量プログラムによる減量入院も行っています。

患者さんのご紹介について

 聖マリアンナ医科大学病院
ST. MARIANNA UNIVERSITY HOSPITAL

 044-977-8111 (代表)

紹介受付時間：平日 8:30～15:00
土曜 8:30～11:00

 044-975-0608

医療機関からのWEB予約サイトはこちら

 聖マリアンナ医科大学病院
患者さんの紹介について

お問い合わせ先：メディカルサポートセンター



センターのご紹介

□ 糖尿病センター

病診連携の推進：当センターでは、地域の医療機関と連携し、普段の外来は地域の医療機関に通院していただき、下記のような必要なポイントで当院を利用していただくことを推進しております。

・ 糖尿病教育入院（1～2週間）

糖尿病とその合併症について学び、患者さんに応じた適切な治療サポートを行うとともに、患者さんの合併症や膵臓の機能をチェックし、適切な治療方針を決めます。入院中は各専門職種による集団の講習と、個別の治療サポートを提供します。

・ 治療再構築入院（1～2週間）

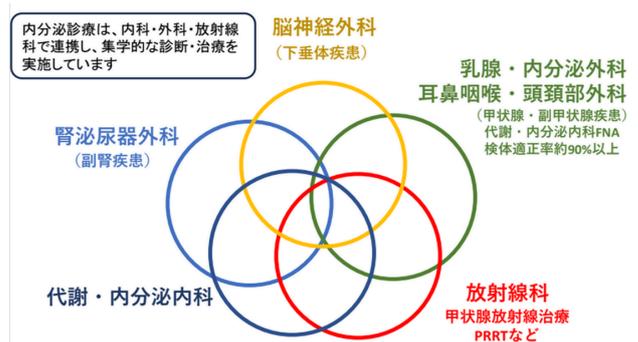
糖尿病の治療がうまくいかない場合に、膵臓がんやホルモンの病気など他の原因が隠れていないか、合併症の状態はどうか、膵臓の機能はどのくらい残存しているかなどを詳しく調べ、普段の生活環境も考慮し、個々の患者さん毎に最適な治療に再構築します。

・ 血糖管理デバイスの導入

持続グルコースモニタリング（CGM）、インスリンポンプ療法、センサ付きインスリンポンプ(SAP)療法、ハイブリッドクローズドループなどのデバイスを導入し、習熟いただきます。

□ 内分泌疾患センター

2021年4月に開設したセンターとなっています。内分泌疾患は診断や治療の難しい稀少疾患も多く含み、厚生労働省の指定難病も多くあります。これら内分泌疾患の治療においては、内科・外科・放射線科が連携し、集学的な診断・治療を行っており、日本有数の診療経験を誇ります。



1. 内分泌疾患の内科的治療を担う診療科… **代謝・内分泌内科**
2. 甲状腺・副甲状腺疾患の外科的治療を担う診療科
… **乳腺・内分泌外科** および **耳鼻咽喉・頭頸部外科**
3. 下垂体疾患の外科的治療を担う診療科… **脳神経外科**
4. 副腎疾患の外科的治療を担う診療科… **腎泌尿器外科**
5. 内分泌疾患のRI診断・RI治療、IVRなどを担う診療科… **放射線科**